

議会だより充実を 広報委員が研修会

2月14日、議会広報発行特別委員会では、岩手日報社岩手支局長の熊谷真也氏を講師として研修会を開催し、記事の書き方、紙面の構成、写真の配置などの講義を受けました。

講義では、「くずまき議会だより」の添削指導を受け、写真は見開きでバランスを取った配置にするよう、見出しは具体的に、専門用語には解説をつけるなど、紙面づくりのアドバイスをいただきました。



分かりやすい紙面づくりを講義する熊谷氏

議会だよりは、議会の審議の内容や議員研修や議会の取り組みなどをお知らせすることを目的としており、住民と議会を結ぶパイプとして重要な役割を果たしています。委員会では今後、研修の成果を生かして、より読みやすく分かりやすい紙面づくりに努めます。

積極的に情報公開 議会や議員活動の経費

議員は、町内外で様々な研修活動や視察を行っています。この経費は、公費で負担している場合と議員が自己負担している場合がありますが、これまで費用について公開しなかったために、全て公費負担しているという誤解があることがわかりました。

議会だよりでは今後、視察研修を行った場合はそのレポートと併せて、かかった経費についても公開していきます。

また、議会だよりについても、一冊あたりの印刷経費を裏表紙の欄外に掲載し、情報公開を進めます。

広報委員が わかりました

今号から新しいメンバーで議会だよりをお届けします。皆さんに親しまれる広報誌を目指しますので、ご愛読ください。



私たちがお届けします

次の定例会は
6月中旬です。
皆さんの傍聴を
お待ちしております。

情報公開

議長が議会の対外的活動をするために要する経費を議長交際費といいますが、各団体の総会、式典の会費が主なものです。

1月	40,000円(盛岡市・玉山村合併記念 他)
2月	80,000円(ふるさと会総会 他)
3月	47,000円(田野地区集会所完成記念 他)

編集後記

春は、別れと新たな出会いの季節です。高校を卒業した人々は上の学校へ、あるいは実社会へと親元を離れての生活が始まります。希望に胸をふくらませて新生活に望んでも、時には厚い壁に阻まれる時もあります。くじけずに、ゆくりと自分の道を歩んで欲しいものです。

雪が解け、道はたに「ミ」が多く顔を出してきています。「自分さえ良ければ」「誰も見ていないから」ではなく、お互いに自分の古里は汚さず、いつまでもきれいに願っています。

議会広報委員会 高宮 時男